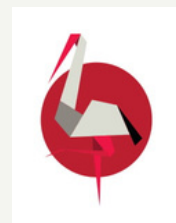


社会福祉法人 福田会 週次報告書

2023年1月31日 / Vol. 037



1月23日(月)～1月29日(日)の支援活動

支援所への支援物資提供

レストランプロジェクト

食材支援

プシェミシル日本文化センター動物小屋建設支援



食材支援参加者から福田会スタッフへ、日ごろの支援へのお礼として、チューリップの花束を頂いた。

ご支援総額

2023年1月27日までの寄付総額 117,481,573 円

寄付金使用総額 3187056.78 zł (約9243万円)

1/23(月)～1/29(日)の期間中の寄附金使用額

62014.96 zł (約180万円)

活動内容



支援所への支援物資提供

カリタス支援所とPeron4支援所へ、週に1度の支援物資の買い出し支援を実施。

両支援所とも、配布用に缶詰・小麦粉・パスタ・米などの主食と長期保存食を中心に購入している。



レストランプロジェクト

市内レストラン2店舗と協力し、無料で温かい食事を提供。

今週は2店舗で約400食を提供。

通常のメニューに加え、揚げたパンの中にキャベツや卵などが入ったピロシキ（ウクライナの郷土料理）を食べる人の姿も見られている。



食材支援（毎週金曜日）

今週は27家族に1週間分の昼食用食材を提供。

一人あたり50złの予算を設け、合計で3 896,06 zł（約117,000円）分の食材を購入。

子どもと一緒に参加する家族も多く、スキヤンの仕方や、野菜の重さのはかり方などを学んでいた。



プシェミシル日本文化センター 動物小屋建設支援

昨年7月に訪問し、ウクライナからの避難動物用餌代や病院代を支援したプシェミシル日本文化センターへ、小屋の建設支援を実施。

同センターは計100匹もの犬猫を保護しており、屋外の小屋で動物を飼育していたため、動物たちが温かい冬を迎えられるように、小屋の建設代を支援した。





現地の動向

クラクフ中央駅地下カリタス支援所の隣に、ウクライナ財団によるウクライナ避難民のための相談所がオープンした。

ウクライナ財団は、2013年に、ポーランド国内におけるウクライナ人の地域社会との融和を図る事を目的として、ポーランド西部の都市・ヴロツワフで立ち上げられた。

数年のうちに活動の幅を広げ、今では国籍に関係なく、ポーランドへの移住者の支援を行っている。

クラクフ中央駅にオープンした同相談所では、避難民のポーランドでの生活相談や支援所の斡旋、求人の紹介等を行っており、隣接するカリタス支援所と合わせて利用している避難民の姿も見られた。

